

# 南中時刻

青森・野呂茂樹

\*\*\*\*\*

## 【南中時刻】

(1) 日時は、太陽が天の赤道を等速で動いていると仮定して決めています。視太陽は、赤道面に対して斜めに傾いた黄道上を日々違った速さで進むので、観測地が固定されても、南中時刻（太陽がもっとも高い時刻）は日々変化します。

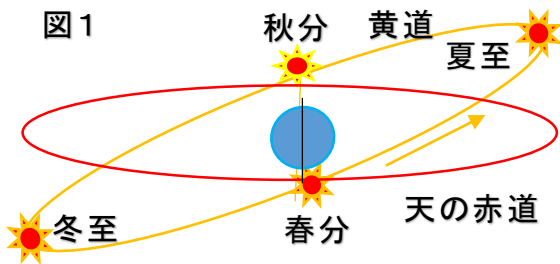
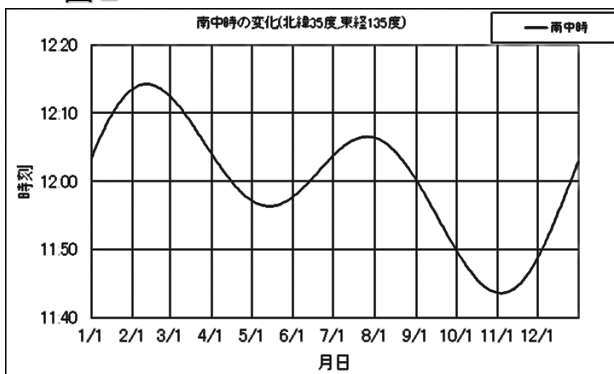


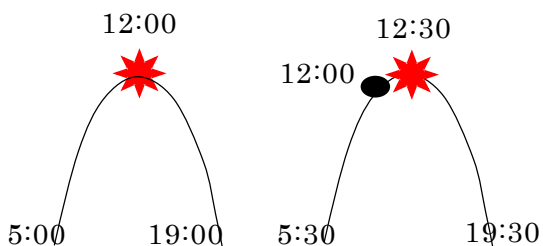
図2



【明石市：国立天文台資料】

(2) 日の出～南中時刻＝南中時刻～日の入り は同じ時間なので、南中時刻が正午であれば、午前（日の出～正午）＝午後（正午～日の入り）です。南中時刻が正午でないときは午前と午後の長さは異なります。

昼の時間 14 時間：南中時刻 12:00,12:30



(3) 夏至の日は、1 年のうちで昼間が一番長い日、また、冬至の日は、1 年のうちで昼間が一番短い日です。

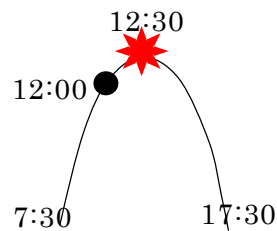
日本では、日の出がもっとも早い日は、夏至より 1 週間ほど早く、日の入りがもっとも遅い日は夏至より 1 週間ほど後になります。冬至に関しても、日の出がもっとも遅い日は冬至の後、日の入りがもっとも早い日は冬至の前です。この現象は、日本中どこでもほぼ同様です。

(4) ”秋の日はつるべ落とし”と言われます。火の沈む時刻が早いのと午後の時間が短いこと・午後は太陽の高さの変化が激しいからです。

(5) 冬至後昼の長さはだんだん長くなりますが、1 月頃は南中時刻がだんだん遅くなっていくので、日の出の時刻はあまり変化せず、日の入りの時刻が遅くなる現象が見られます。

(6) 春分・秋分の日での昼夜の長さは、日の出・入りの決め方や大気による光の屈折のため、同じくはなりません。秋分の日日本付近では 15 分ほど昼のほうが長い。実際に昼と夜の時間がもっとも同じになるのは秋分の日からだいたい 4 日後です。

昼の時間 10 時間：南中時刻 12:30



昼の時間 10 時間：南中時刻 11:30

